

伊波小通信6

発行：石嶺 聡 NO, 6 平成29年9月1日(金)



2学期始業式あいさつ



伊波小学校のよ子の皆さん、おはようございます。

皆さん、この夏休み、楽しく過ごすことができましたか。夏休み期間中は、最高気温が30度を越す暑い日が多かったにもかかわらず、きっと暑さにも負けず、いろいろなことに挑戦し、がんばったんじゃないかと思います。この後、学級では夏休みの思い出や宿題などについて、話し合いがおこなわれることと思います。いっぱい楽しい話し合いができるといいですね。

1学期の終業式のお話の中で、長い夏休み期間中は、「交通事故や水の事故に遭わないように充分気をつけること、不審者などの事件などにも気をつけてください。」ということも話をしました。幸い、夏休み中に事故にあった人や大きな怪我をした人はいませんでしたので、校長先生はとっても嬉しく思っています。「安全に気をつけて生活すること」を2学期も心がけるようにしてください。

さて、2学期が始まりましたが、校長先生は皆さんに、夏休みに行われた夏の全国高校野球(甲子園大会)について、少しお話をしたいと思います。校長先生は、49校のどのチームも素晴らしいなあと感じたのです。沖縄県代表の興南高校は、1回戦で智弁和歌山高校に敗れましたが、決勝戦までの48試合、すべてが素晴らしい試合の連続でした。今大会優勝した埼玉県花咲徳栄高校をはじめ、どのチームにも言えることは「厳しい戦いの中で勝利に導こうと最後まで諦めず頑張り通したこと」だと思います。

「最後まで諦めず頑張り通すこと」って何ですか。努力もせずに、願っているだけでは目指している目標を達成することができないということです。諦めてしまうのは簡単なことです。私達は何かと困難なことに立ち向かうより、楽にできることに流されがちだけれど、それでは充実感や達成感を味わうことはできません。「何事にも最善を尽くしてやってみよう」、「希望を失わず、全力で頑張ってみよう」という気持ちが大事なのです。

さあ、今日から2学期です。2学期は、1年のうちで一番長い学期で、運動会などの学校行事や普段の学校生活を頑張ることを通して、皆さん一人一人が大きく成長する学期でもあります。皆さん、一人一人がしっかりとした目標をもって、「最後まで諦めず頑張り通すこと」ができれば、きっと何か素敵なことが起こるものと信じています。心から期待しています。

それでは、2学期も、伊波小学校の皆さんと先生方、地域の皆さんと協力し合って、最高の学期にしていきましょう。

これで校長先生のお話を終わります。



つら くい なみだ
辛い悔し涙

しゅん かん
最高の瞬間

かたい
華麗な一打